

証券コード：8860

幸せはこぶ
住まいづくり

第43期 第2四半期(中間)

株主通信

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
トップインタビュー.....	2
事業セグメント別予想売上高構成比.....	3
連結財務諸表の要旨.....	5
社内紹介リレー.....	7
外から見たフジ住宅.....	9
当社戸建プロジェクトのご紹介.....	10
IR活動実績と予定、株主優待制度について...	11
トピックス.....	12
映画『海難1890』を応援しています.....	13
株式の状況、会社概要.....	14

当社番組提供『皇室アルバム』



フジ住宅株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平成28年3月期上半期（平成27年4月～平成27年9月）におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や金融政策の効果を背景に良好な企業収益や雇用・所得状況の改善の動きが見られ、個人消費は緩やかに持ち直しの兆しがあるものの、消費者物価の上昇や中国経済の減速懸念等、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、都心部の分譲マンション販売が好調となりましたが、地価の上昇や建築コストの高止まりにより、地方の住宅販売は低調に推移いたしました。

このような状況下において、当社グループの当上半期の売上高及び各段階利益の数値は前年同期を大幅に上回る増収増益となりました。

当社は“企業は人なり”の言葉通り、社員を大切にする経営方針のもと、経営理念の理解と実践の徹底により成長した各部門の“人財（リーダー）”を中心に、経営努力と事業展開で発展成長してまいりました。

今後も当社の事業の目的である、“お客様に幸せになっていただくこと”を全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成27年11月吉日
代表取締役社長 宮脇 宣綱



Q1 当上半期（第2四半期連結累計期間）の業績及び通期の見通しについて説明してください。

当上半期の業績は、売上高43,612百万円（前年同期比24.1%増）、営業利益2,440百万円（同62.8%増）、経常利益2,388百万円（同61.5%増）、四半期純利益1,570百万円（同61.3%増）となりました。

主として分譲住宅事業において自由設計住宅と分譲マンションの引渡し戸数が増加したこと、中古住宅販売が好調に推移したことにより、当上半期の売上高は前年同期を大きく上回り、また利益面においても大幅な増益となりました。

平成28年3月期通期の見通しにつきましては、前連結会計年度において個人投資家向け一棟売賃貸アパートの受注が大幅に増加したことにより、当下半期に引渡しが進むことから、現時点において通期の業績予想は無理なく達成できる見込みです。

Q2 社員教育に力を入れているとのことですがどういう取組みをされているのでしょうか。

当社が望む“人財”は単に業務のスキルが優れているというだけではありません。何事にも感謝の気持ちを持つ、思いやりの心を持つなど、人としての成長を強く社員に望んでいます。

当社では、毎月経営理念に関する感想文を全役職員に提出してもらっています。感想文の内容は自由で、経営理念に沿って仕事上やプライベートで実践していることや、お客様との嬉しかったエピソードなど、どんな内容でも構いません。

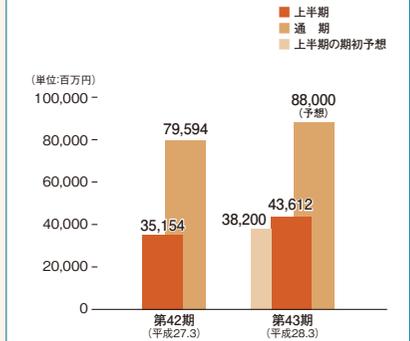
また、感想文は会長と私が全役職員約1,070名分を読み、その中から120名程度を抜粋し、毎月全役職員に配布・共有しております。他の役職員が実践している事で活用できること、モチベーションが上がること、またお客様や取引先への感謝の気持ちを共有することにより、経営理念の理解・実践の向上につながっています。

当社の経営理念の一番目は「社員のため」「社員の家族のため」です。全てのステークホルダーにご満足いただくためには、まず社員とその家族が幸せになることが重要と考えています。社員がつまらなそうな顔をしていて、どうしてお客様を笑顔にできるでしょうか。

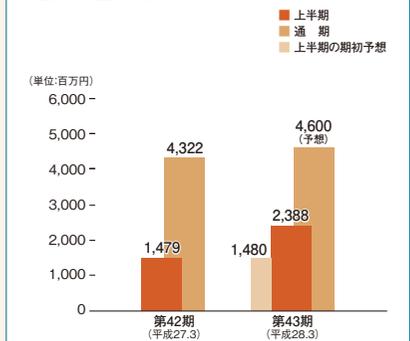
感謝の気持ちを育て、人として成長する、そういうことを当社では大切にしています。

業績・財務ハイライト

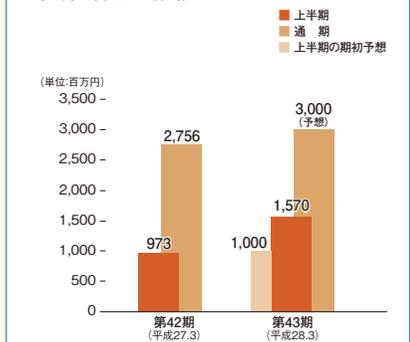
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



事業セグメント別予想売上高構成比



『ビッグハーベストランド武庫之荘Ⅱ』の街並みイメージ(兵庫県尼崎市)



『自由設計』



『シャルマンフジスマート和歌山城公園』の完成イメージ(和歌山県和歌山市)



自由に見て、自由を選ぶ住宅情報展示場『おうち館 泉佐野店』(大阪府泉佐野市)



分譲住宅セグメント 32,570百万円

(前期比2,545百万円増)



(売上高構成比)

内訳…自由設計住宅 25,140百万円
分譲マンション 7,430百万円

特長は50～200戸規模の新築戸建住宅の「街づくり」と、お客様ご自身が住まいづくりにご参加いただく「自由設計」です。「自由設計住宅」では間取りや設備仕様に対する様々なニーズに対応しています。また、新築分譲マンション販売事業も分譲住宅セグメントに含まれます。



住宅流通セグメント 25,780百万円

(前期比356百万円増)



(売上高構成比)

内訳…中古住宅 22,080百万円
建売住宅 3,700百万円

中古住宅の「仕入」⇒「リフォーム」⇒「販売」の3つの要素から成り立つ改装付中古住宅『快造くん』。地域密着型経営やリフォームのマニュアル化による独自のノウハウを持つことが強みです。また、小規模の新築戸建住宅(建売住宅)の販売により、自由設計住宅や大規模プロジェクトだけではカバーできない顧客ニーズにも対応しています。

一連結・当期

分譲

フジ
あなたの住みたく
www.fuji

住宅流通



注文住宅



(第43期) 予想

住宅

家の家
家が見つかる
iie.com

土地
有効活用

FUJI

賃貸及び
管理

暮らしを見守る確かな
FUJI AMENITY SERVICE SYSTEM
EASS



(売上高構成比)

土地有効活用セグメント 17,250百万円

(前期比4,298百万円増)



土地有効活用セグメントでは賃貸管理のノウハウを生かした提案型の賃貸住宅の建築請負を展開しています。また、当社で土地を仕入れ、賃貸アパート等を建築し販売する、個人投資家向けの一棟売賃貸アパート販売も主力事業となっています。



低賃料タイプサービス付き
高齢者向け住宅
「フジバレスシニア」
(大阪府堺市)



個人投資家向け
一棟売賃貸アパート
「フジバレス」シリーズ



(売上高構成比)

賃貸及び管理セグメント 11,830百万円

(前期比1,155百万円増)



賃貸アパートの建物管理や入居者募集、賃料回収等の管理業務及び分譲マンションの管理組合からの運営受託を行っています。
良質の賃貸・管理サービスは提案型の建築請負の営業支援となり、引渡し後の賃貸管理の引き受けと併せて、土地有効活用セグメントとの相乗効果も高い事業です。



(売上高構成比)

注文住宅セグメント 570百万円

(前期比49百万円増)



注文住宅セグメントでは戸建住宅の実績で培ったノウハウを生かし、土地を保有するお客様に対して戸建住宅の新築や、建替えを請負うといった事業を行っています。



「注文住宅展示場」(大阪府岸和田市)

連結財務諸表の要旨

Point 1

たな卸不動産（販売用不動産、仕掛販売用不動産、開発用不動産、未成工事支出金）

たな卸不動産残高は、前連結会計年度末と比較して、1,239百万円（1.7%増）増加しました。

土地有効活用事業の個人投資家向け一棟売り賃貸アパートの好調な受注に伴い、積極的に事業用地を取得したことと、良質な戸建住宅用地を取得したことによるものです。

Point 2

短期借入金、長期借入金

短期借入金及び長期借入金は、前連結会計年度末と比較して、4,629百万円増加しました。

下半期に向け、良質な戸建住宅用地の取得に備え、手許資金を積み上げるため、金融機関から資金調達を行った結果です。

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円 百万円未満切捨）

資産の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	負債の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	平成27年3月31日	平成27年9月30日		平成27年3月31日	平成27年9月30日
流動資産	83,262	88,407	流動負債	28,203	29,850
現金及び預金	8,614	12,650	支払手形・工事未払金	3,998	4,457
完成工事未収入金	58	61	② 短期借入金	16,288	17,665
① 販売用不動産	19,270	19,395	その他	7,917	7,727
仕掛販売用不動産	15,711	16,698	固定負債	39,371	42,621
① 開発用不動産	37,081	37,225	② 長期借入金	39,127	42,379
未成工事支出金	66	49	その他	244	241
その他	2,459	2,326	負債合計	67,575	72,471
固定資産	10,696	11,597	純資産の部		
有形固定資産	9,314	10,174	株主資本	26,261	27,396
無形固定資産	69	73	その他の包括利益累計額	64	83
投資その他の資産	1,312	1,349	新株予約権	56	52
資産合計	93,958	100,004	純資産合計	26,382	27,532
			負債純資産合計	93,958	100,004

セグメント情報

（単位：百万円 百万円未満切捨）

前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	11,910	12,459	5,355	5,194	233	35,154
セグメント利益	554	332	589	455	17	1,949

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	16,738	14,895	5,895	5,805	277	43,612
セグメント利益	1,792	493	273	394	35	2,989

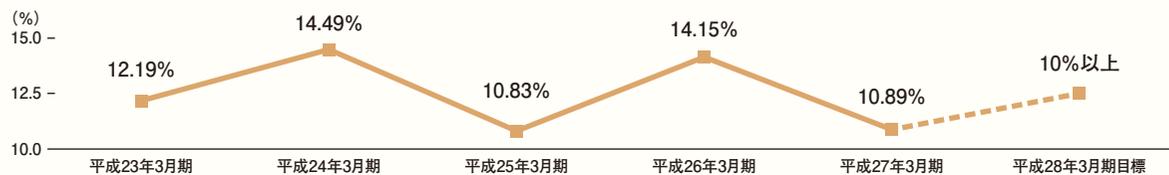
四半期連結損益計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
③ 売上高	35,154	43,612
売上原価	28,970	36,414
販売費及び一般管理費	4,685	4,757
③ 営業利益	1,498	2,440
営業外収益	181	173
営業外費用	200	224
③ 経常利益	1,479	2,388
特別損失	33	0
税金等調整前四半期純利益	1,445	2,388
法人税、住民税及び事業税	347	782
法人税等調整額	124	35
③ 四半期純利益	973	1,570

Point 3 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益

前第2四半期連結累計期間を大幅に上回る増収増益となりました。これは分譲住宅セグメントにおいて、自由設計住宅、分譲マンションの引渡し戸数の増加により、売上高、セグメント利益が大きく増加したこと、住宅流通セグメントにおいて中古住宅の販売が好調に推移したことによるものです。

ROIの推移 (平成23年3月期～平成28年3月期)



※投資利益率(ROI)=100×(当期純利益)÷{(期首総資本+期末総資本)÷2}

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 2,410	1,347
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 929	△ 1,340
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	2,528	4,029
現金及び現金同等物の増減額	△ 810	4,035
現金及び現金同等物の期首残高	9,802	8,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,991	12,650

Point 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

Point③にあるとおり、順調な業績を背景に前第2四半期連結累計期間を上回る四半期純利益を計上したこと等を反映し、営業活動によるキャッシュ・フローは1,347百万円のプラスとなりました。

Point 5

投資活動によるキャッシュ・フロー

賃貸用中古分譲マンションの取得による有形固定資産の増加を反映し、投資活動によるキャッシュ・フローは1,340百万円のマイナスとなりました。

Point 6

財務活動によるキャッシュ・フロー

Point②とも関連しますが、短期借入金・長期借入金の増加を反映して、財務活動によるキャッシュ・フローは4,029百万円のプラスとなりました。

社内紹介リレー

フジ住宅では「お客様に幸せになっていただくこと」を事業の目的とし、全社一丸となって取り組んでいます。当社の役職員がどのような気持ちで、どのような業務を行なっているかをシリーズでご紹介します。第4回は土地有効活用事業部です。

用地仕入

造成

営業

設計

ローン

建築

アフターサービス

土地有効活用事業部では、「日本一愛される土地有効活用事業部を目指す」を目標にお客様にフジ住宅と取引して良かったと満足し、喜び続けていただけるように日々営業活動に取り組んでおります。

当事業部の最大の特長は、飛び込み営業を一切行なわないことです。フジ住宅を信頼していただいている金融機関様、税理士の先生方、既にお取引いただいているオーナー様（地主様）から新たなお客様を紹介いただく「紹介営業」を中心に営業活動を行なっています。

営業マンが新たなお客様にお会いする時は、まず一番にお客様の資産に関するお悩み、お客様ご自身の個別事情をしっかりと聞きし、解決策の手段として事業のご提案を行なっております。要は、決して土地があるので建てましょうといった、商品ありきの営業は一切いたしません。



お客様の希望・要望に合わせて無理な提案はしないで、必要な場合にのみ、厳しい市場調査や賃貸事業として成立するかを調べさせていただいた上で、長期にわたり事業が成立する場合にのみ土地活用のご提案をさせていただいております。賃貸事業は20年、30年先を見据えた事業ですから、「建てましょう」「やりましょう」というお勧めはいたしません。

お客様にとって土地有効活用の必要が無い場合、又、何もしない方がリスクが少ない場合、さらに賃貸事業を行なうことが厳しいと判断した時は、お客様が希望されたとしてもフジ住宅はお断りさせていただきます。これは「建てないで下さい」と言うのも私たち不動産事業のプロとしての役割だと思っているからです。

オーナー様とのお付き合いは、物件の引渡しをさせていただいてからが本当のお付き合いの始まりです。「日本一愛される土地有効活用事業部を目指す」ことを実践するために、部内で“サンキューレポート”という報告様式を用い、お客様より頂戴した「ありがとう」のお言葉、お客様から当社社員への感謝の声、喜びの声を土地有効活用事

業部内のボードに報告様式にして貼り出して事業部内の社員全員に共有いたします。お客様よりいただいた“サンキューレポート”やお礼状などを綴った冊子、お客様喜びの声を掲載しているボードが私たち事業部の宝物の1つです。

“サンキューレポート”には多くの事例が紹介されています。オーナー様数名合同で、10年以上にわたり毎年毎年、営業担当者や物件管理担当者（子会社フジ・アメニティサービス社員）のために慰労会を開催していただいたり、当社が施工したマンションの屋上で毎年花火大会の観覧へのご招待や、お花見、ゴルフ、食事会など、事業を発注していただけるだけで充分ですが、ありがとうございますのお言葉やご招待など、本当にありがたい限りのお付き合いをしていただいております。

賃貸住宅の建築は、人手による手造りであるため、いろいろな不具合



<お客様から頂戴した感謝の声やサンキューレポート>

が起こることがあります。ある物件で排水のトラブルが起こった際、正直にオーナー様にご説明し改修工事のご了承をいただきました。オーナー様のご自宅とは少し離れた場所のことなので黙っている会社もあるかもしれませんが、嘘つくことなく



<低賃料タイプサービス付き高齢者向け住宅『フジパレスシニア』>



<個人投資家向け一棟賃貸アパート『フジパレス西宮EAST』>

正直にできるだけ早くご報告するとともに、改修工事では通常では考えられない範囲まで改修を行なうことに驚かれ、逆に、さすがフジ住宅とのお言葉を頂戴いたしました。

この出来事は当社の経営理念通りの対応であり、担当者としてお客様に、嘘、隠し事無く、安心して自信を持って仕事に取り組めることは、フジ住宅で仕事ができる喜びの一つです。

これからも、一人でも多くのお客様にフジ住宅で事業をやってよかったと喜び続けていただけるように、「日本一愛される土地有効活用事業部を目指す」に取り組んでまいります。

(リレー紹介文担当者：土地有効活用事業部 営業1課 内田 卓也)



外から見たフジ住宅

納税を通じて、地域・社会に貢献できる会社として

公認会計士・税理士

木戸 伸男

私は、フジ住宅の創業時から税務顧問をさせていただいております。

地元の会計事務所に勤め始めた昭和49年4月に、株式会社の設立関係書類を顧問先に届けるよう指示されお届けしたのが、フジ住宅株式会社でした。創業者の今井社長（現会長）が、個人創業した不動産業を株式会社として設立したのと私の勤務開始が重なり、現在に至るまで、いっしょに時を過ごしてきたという思いがあります。フジ住宅は開業後、地域に密着した住宅会社として事業を順調に拡大されました。今井会長は事業で得た利益を個人的に蓄財することなく、後に大阪証券取引所に上場するまで、一切の利益配当を受け取らずに事業経営に邁進されました。そして平成2年12月に、会社設立後16年で大阪証券取引所第二部に上場されました。平成15年12月に東京証券取引所第二部に上場し、更に平成17年3月には東京・大阪両証券取引所第一部に昇格、とバブル崩壊後の厳しい状況を乗り越え、目覚しい発展を遂げられました。これもひとえに今井会長の「経営理念」を日頃より、幹部社員のみならず、すべての社員に徹底して、価値観を共有して実践してこられた賜物と感服いたしております。フジ住宅の「経営理念」は、経営・営業方針に関することはもちろんですが、社員やその家族を大切にし、さらには顧客の満足・信頼を得ることに最大の重点をおかれていると感じます。

フジ住宅は、大阪府岸和田市に本店を置く数少ない上場企業として、行政からの協力依頼にも積極的に協力されています。一例を申し上げますと、国税庁が利用拡大を推進している、e-TAX（電子申告）は、税理士が関与していない一般の納税者の利用が低迷しているのが現状です。そこで地元の岸和田税務署から、顧問税理士である私を通じて、フジ住宅株式会社への協力要請がありました。グループ会社で1,000人を超える社員が在籍されており、多数の方が医療費控除・住宅ローン特別控除などで還付申告されていると思われるので、電子申告を会社で指導していただけないかとのお願いです。地元税務署からの協力依頼の対応をお願いしましたところ、快諾していただきました。確定申告時には、専用のパソコンを用意し、個人情報保護も考慮して個室を用意し、経理部の担当者が社員の方に対しパソコン入力の仕方を指導し電子申告を行って来ています。このことは税務当局からも非常に感謝されています。又、適正な納税の推進を目的とした地元の納税協会の理事にも長年にわたって就任していただいております。地域を代表する上場企業の役割を十分に認識していただいております。

フジ住宅株式会社が今後益々発展され、社員、社員の家族、顧客の幸福を支え、又確実な業績をあげ、業績向上に連動した納税を通じて地域や社会に貢献されることを願います。



当社戸建プロジェクトのご紹介

当社で販売中の戸建プロジェクトをご紹介します。

～アスモの丘 グリーンセントラル堺～ (総戸数177戸)

豊かな緑の潤いに包まれた、閑静で落ち着いた住宅街にある、ご家族の伸びやかな暮らしを育むビッグスケールの街、「アスモの丘 グリーンセントラル堺」。

ゆとりの敷地に、177家族の大きな未来を描くさまざまな工夫と配慮を盛り込んだこの街は、ご家族みんなが、毎日の暮らしの主人公になれる街です。177の家族みんなが「明日」を「もっと」楽しく、「もっと」心地よく暮らせる街との願いを込めて「アスモの丘」と名付けました。



高槻市

大阪市

堺市

緑と利便に満ちた暮らしやすいロケーション



高槻・山の手、最前列。

人と人、人と自然が、響きあう街。

響音
HIBIKI HILLS

美しい環境と響きあう、大いなる街。
「高槻日吉台～響ヒルズ～」誕生。



～高槻日吉台 響ヒルズ～ (総戸数143戸)

143家族のさまざまなライフスタイルが叶えられる壮大な街、「響ヒルズ」。住まいの個性を活かしながら門柱など玄関周りをトータルデザインすることで、統一された美しい街並みを創造します。立地の魅力を最大限に活かし、街のどこにいても心地よい通風と採光と開放感にこだわった、人と自然が響きあう街づくりを行いました。思い描く住まいをつくる自由設計、未来と安心が響きあう最高級の耐震制度、優しさと快適が響きあう炭の家など、生活と想いが響きあう家づくりにもこだわっています。



IR活動実績と予定

当社は機関投資家・個人投資家向けに説明会を実施しております。経営方針・方向性を明確にするよう努力し、「情報開示にあたり絶対に嘘をつかない、隠さない」ことをモットーとしております。説明会を開催することにより、適時・適切な情報開示と積極的な対話を通じて、株主・投資家の皆様との信頼関係構築に努め、ますますIR活動を充実してまいります。ここにIR活動の実績と今後の予定をお知らせいたします。



■ 最近のIR活動

日時	内容 場所	主催者
平成27年 2月14日(土)	個人投資家向け会社説明会 大阪	インベストメントブリッジ
平成27年 2月28日(土)	個人投資家向け会社説明会 東京	インベストメントブリッジ
平成27年 5月 8日(金)	機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会 東京	日本証券アナリスト協会
平成27年 5月11日(月)	金融機関・個人投資家・証券アナリスト向け決算説明会 大阪	日本証券アナリスト協会
平成27年11月 6日(金)	機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会 東京	日本証券アナリスト協会
平成27年11月11日(水)	金融機関・個人投資家・証券アナリスト向け決算説明会 大阪	日本証券アナリスト協会
平成27年11月14日(土)	個人投資家向け会社説明会 広島	インベストメントブリッジ
平成28年 3月 5日(土)	個人投資家向け会社説明会 東京	インベストメントブリッジ

株主優待制度について

■ 対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主様を対象といたします。

■ 株主優待の内容

次のとおり、保有株式数に応じ、優待品を贈呈いたします。

保有株式	1,000株以上 5,000株未満	5,000株以上10,000株未満	10,000株以上
優待の内容	JCBギフトカード3,000円相当	JCBギフトカード4,000円相当	JCBギフトカード5,000円相当

■ 贈呈の時期 定時株主総会終了後の6月下旬の発送となります。

トピックス

フジホームバンク神戸オフィス新設

神戸市内全域及び周辺地域（明石市、三田市方面等）における中古住宅再生事業の営業拠点として「フジホームバンク神戸オフィス」を平成27年4月27日付で神戸市の中心である三宮に開設いたしました。



感情を持った パーソナルロボット Pepperが フジ住宅で活動を 開始しました。

活躍現場

サービス付き高齢者向け住宅 フジパレスシニアへの訪問活動

フジパレスシニアとは、「自分の親を安心して預けられる住まい」を目指し、介護施設よりも自由度の高い、安心・安全な高齢者のための共同住宅です。サービス付き高齢者向け住宅では入居者の方々のコミュニケーションを通じて、今後の活用を検討してまいります。



戸建・マンション現場での集客活動

事務所や住宅販売センターでの集客活動で活躍しています。今後、受付対応や、来客者におもてなしをするコンシェルジュとしての活用を検討してまいります。



映画『海難1890』を応援しています

弊社プレスリリース 平成27年8月10日付



©2015 Ertugrul Film Partners



平成27年8月10日

各位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
 会社名 フジ住宅株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮脇宣綱
 (コード番号 8860 東証第一部)
 問合せ先 取締役1R室長 石本賢一
 (TEL. 072-437-9010)

～お知らせ～ フジ住宅は映画『海難1890』を応援しています

フジ住宅は、今年12月5日(土)公開の日本・トルコ合作映画『海難1890』(かいたんないちはちきゅうぜろ)を応援させていただくことになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

■当社では以前より、社員の人材育成の一環として「エルトゥール号遭難事件」の書籍を全社員に配布し、「日本人としての誇り」や「人を想う深い真心」を学び、お客様、地域、社会に役立つ企業となることを目指しております。また、未来を背負って立つ子どもたちが、道徳心を養い日本人としての誇りをもつことを教えてくれる本作品に深く賛同し、当社は映画鑑賞券の購入、当社のホームページへの掲載や住宅事業とのタイアップ広告などを行い、映画『海難1890』を応援してまいります。

■映画『海難1890』ストーリー
 1890年(明治23年)エルトゥール号に乗ってオスマン帝国(現トルコ)の親善訪日使節団が来日。帰国途中、和歌山県串本町沖で座礁し、500人以上もの犠牲者が出る中、地元住民の必死の救助活動によって69人の命が救われた。この出来事により、この地で結ばれた絆は、トルコの人々に深く刻まれた。時は流れて、1985年、イラン・イラク戦争で緊張が高まる中、フセイン統治下のイラクは、イラン上空を飛行する航空機を、四十八時間以降、無差別に撃墜すると通告。テヘランに日本人215人が取り残された。日本政府は安全の確保が難しいと専用機の派遣に踏み切ることができない中、救援機を2機飛ばし、自国民よりも日本人を優先して搭乗させ、救出に尽力したのがトルコだった。

日本人がこれまであまり知ることのなかった日本とトルコの深い絆の物語が、両国友好125周年を迎える本年、遂に映画化されることになりました。

■上映スケジュール
 平成27年12月5日(土)より 全国ロードショー

- 1 -

■ 出演者
 内野聖陽 ケナン・エジェ 忽那汐里 アリジャン・エジェソイ
 小澤征悦 宅間孝行 大東駿介 渡部豪太 徳井優 小林綾子 螢雪次朗 かたせ梨乃
 夏川結衣 永島敏行 竹中直人 笹野高史

■映画『海難1890』公式サイト: <http://www.kaimon1890.jp/>



以上

- 2 -



株式の状況 (平成27年9月30日現在)

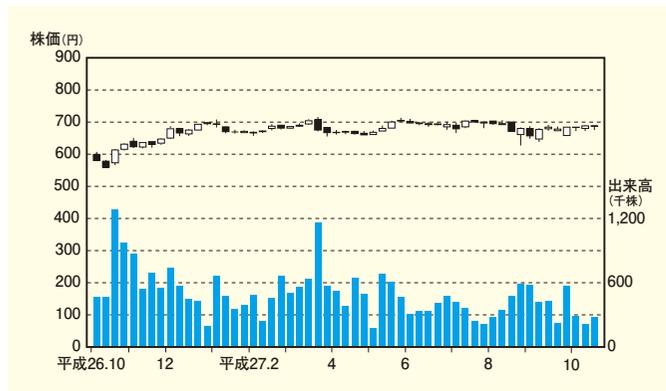
- 発行可能株式総数 105,000,000株
- 発行済株式の総数 36,849,912株
(内、自己株式701,728株)
- 株主数 10,481名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社今井光郎	3,422千株	9.47%
一般社団法人今井光郎幼児教育会	2,680千株	7.41%
一般社団法人今井光郎文化道徳歴史教育研究会	2,561千株	7.08%
フジ住宅取引先持株会	2,011千株	5.56%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,101千株	3.05%
今井光郎	1,072千株	2.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託紀陽銀行口)	1,012千株	2.80%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	937千株	2.59%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託・株式会社池田泉州銀行口)	681千株	1.88%
フジ住宅従業員持株会	639千株	1.77%
株式会社紀陽銀行	585千株	1.62%
合計	16,703千株	46.21%

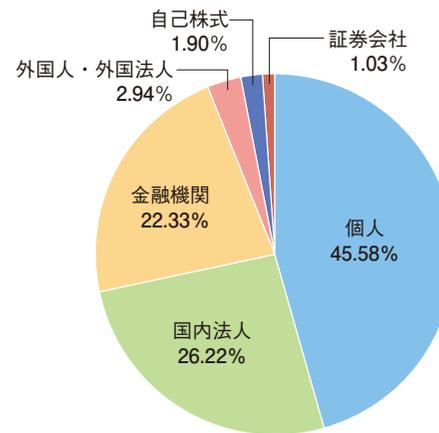
(注) 上記のほか、自己株式701千株があります。

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

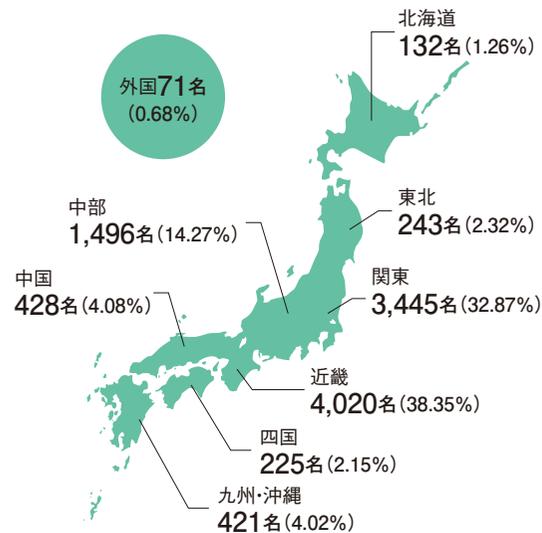
● 株価チャート (平成26年10月～平成27年10月)



● 所有者別株式分布状況



● 地域別株主分布状況



会社概要 (平成27年9月30日現在)

社名 フジ住宅株式会社
 英文商号 FUJI CORPORATION LIMITED
 設立 昭和49年4月19日
 代表者 宮脇宣綱
 資本金 48億7,206万円
 従業員数 1,069名 (パート社員を含む) (連結)
 事業内容 分譲住宅事業
 住宅流通事業
 土地有効活用事業
 賃貸及び管理事業
 注文住宅事業

関連会社 フジ・アメニティサービス株式会社
 主要取引銀行 三井住友銀行、池田泉州銀行、紀陽銀行
 りそな銀行、近畿大阪銀行、関西アーバン銀行
 みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行
 三井住友信託銀行、みなど銀行、京都銀行

役員
 代表取締役会長 今井光郎
 人財開発室担当
 代表取締役社長 宮脇宣綱
 専務取締役 山田光次郎
 事業企画本部長・大阪支社支社長
 常務取締役 松山陽一
 土地有効活用事業部長
 取締役 石本賢一
 経営企画部長・財務部長・IR室長
 社外取締役 岩井伸太郎
 執行役員 白樫浩之
 分譲住宅事業部営業部長
 常勤監査役 冠野雅之
 社外監査役 高谷晋介
 社外監査役 原戸稲男

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告による < http://www.fuji-jutaku.co.jp/koukoku/top.html >
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 [平日 9:00~17:00]
(インターネット) ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社に口座をお持ちの株主様 ⇒ 株主様の口座のある証券会社

証券会社に口座をお持ちでない株主様
(特別口座の株主様*) ⇒ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(上記電話照会先)

*株券電子化(平成21年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座で管理されています。



FUJI CORPORATION LIMITED



フジ住宅株式会社

〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
Tel.072-437-9010 Fax.072-437-9828

IRメール配信 サービスのお知らせ (登録無料)

当社では、株主、投資家の皆様を対象にしたIR情報メール配信サービスを行っています。最新の開示情報やホームページの更新などのIR情報を、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしていますので、是非ともご登録いただきますようお願い申し上げます。

【メール配信サービス 登録方法】

当社ホームページ (<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>)
よりご登録いただけます。



ここで必要事項を入力の上ご登録ください。当社から最新情報を配信いたします。



クリック



古紙配合率70%再生紙を使用しています

